

パート 1: はじめに (スライド 1 - 7)

番号	解説
1	スイスモビリティ
2	ルーカス・スタッドテール 自己紹介
3	スイスは地球の反対側にある小国
4	欧州の中心にある
5	国土面積: 41,285 平方キロメートル
6	3つの主要な州: ジュラ州、ミッドランド州、アルプス州 (人口の90%がミッドランドに居住)
7	スイスの人口: 8百万人

パート 2: スイスの観光の基本情報 (スライド 8 - 32)

8	スイス観光の基本情報
9	スイスにおける観光客の出身国
10	滞在泊数・消費額
11	スイスにおける観光の重要性
12	スイスの観光名所
13	例: スイスのアルプス山脈
14	例: 最も有名な山、マッターホルン
15	例: ジュラ州
16	スイスで最も人気がある休暇を過ごす観光地
17	例: ルツェルンのカペル橋
18	例: 中世の町、ベルン
19	年間の観光客数
20	スイスは、人力以外の動力を使わない (ヒューマンパワー) 交通と観光に最適な国
21	例: 家族向けのハイキング
22	例: 経験を積んだ人向けのハイキング
23	例: サイクリング
24	例: マウンテンバイク
25	例: インラインスケート
26	例: カヌー
27	例: スキーツアー
28	例: スノーショーツアー
29	例: ソリ
30	例: アルペンハイキング
31	例: スポーツクライミング
32	例: アルペン登山

パート 3: 戦略 (スライド 33 - 38)

33	スイスモビリティの歴史
34	2008年の構想は、世界的なリーダーとして持続可能なモビリティを提供する。
35	目的はスイスで人力以外の動力を使わない (ヒューマンパワー) 交通を最高活用すること
36	それがスイスモビリティ
37	スイスモビリティは2008年に創立した
38	素晴らしいオープニングイベント。スイス観光局と協働

パート 4: スイスモビリティの役割 (スライド 39 - 51)

39	スイスモビリティは何をしているか
40	スイスモビリティは「ルートの設定」
41	「標識の設置」
42	「情報発信」
43	「広報宣伝活動」で成り立っている
44	そして、最も重要なのが訪問客 (ゲスト)

45	これらの調整はスイスマビリティによって行われた
46	まず第1に、標識を設置しルートをわかりやすくする
47	整備されたルートや標識について周知をする
48	標識が設置されており、広く周知したルートの利用を促す
49	これらの調整がうまく機能すると、利用者が増加することになる
50	利用者が増加すると、州はルートの改善に投資することになる
51	このような調整はスイスマビリティの本業のひとつ
パート 5: ルートネットワーク (スライド 52 - 63)	
52	「ルートの設定」がスイスマビリティの中心となる要素
53	ネットワークは大切であり、ルート総延長は 33,000km
54	例: スイスのハイキング
55	ナショナルルート (長距離)、リージョナルルート (中距離)、ローカルルート (短距離)
56	例: スイスのサイクリング
57	ナショナルルート (長距離)、リージョナルルート (中距離)、ローカルルート (短距離)
58	例: スイスのマウンテンバイク
59	ナショナルルート (長距離)、リージョナルルート (中距離)、ローカルルート (短距離)
60	例: スイスのインラインスケート
61	ナショナルルート (長距離)、リージョナルルート (中距離)、ローカルルート (短距離)
62	例: スイスのカヌー
63	ナショナルルート (長距離)、リージョナルルート (中距離)、ローカルルート (短距離)
パート 6: 標識の設置 (スライド 64 - 73)	
64	「標識の設置」は、もう一つの重要な要素
65	(様々な要素を示す図)
66	標識の基本的な色は、ハイキングが黄色、そのほかの移動手段は赤色
67	情報発信に使う基本的な色は、ハイキングは緑色、サイクリングは水色、
68	マウンテンバイクは黄土色、
69	インラインスケートは紫色で示している
70	1桁の番号は、ナショナルルート (長距離)、
71	2桁の番号は、リージョナルルート (中距離)、
72	3桁の番号は、ローカルルート (短距離) を示す
73	その結果、統一されたシステムが全国ですべての交通手段に適用されている
パート 7: 情報発信 (スライド 74 - 91)	
74	「情報発信」も重要な要素
75	電子情報の重要性が急激に増している
76	スイスマビリティのウェブサイトの紹介
77	モバイルアプリ (ウェブサイトのモバイルバージョン)
78	(ウェブサイトの紹介: スイスモビリティのトップページ)
79	(ウェブサイトの紹介: サイクリング・イン・スイスのトップページ)
80	(ウェブサイトの紹介: ナショナルサイクリングルートの全貌)
81	(ウェブサイトの紹介: ナショナルルート 1号のトップページ)
82	(ウェブサイトの紹介: ナショナルルート 1号で連携する宿泊施設のリスト)
83	(ウェブサイトの紹介: ナショナルルート 1号に焦点をあてたウェブマップ)
84	(ウェブサイトの紹介: ナショナルルート 1号の簡略な解説)
85	(ウェブサイトの紹介: ウェブマップに掲載された関連サービスの例: 連携する宿泊施設)
86	(ウェブサイトの紹介: 別の例として公共交通)
87	(ウェブサイトの紹介: すべての乗り継ぎが簡単にできる)
88	(ウェブサイトの紹介: 全てのスイスの公共交通の時刻表に直接リンクしている)

89	(ウェブサイトの紹介：ウェブマップの印刷は簡単)
90	(ウェブサイトの紹介：縮尺は1万分の1まで、さまざまなスケールで対応が可能)
91	(ウェブサイトの紹介：3Dのウェブマップも提供)
パート8：宣伝活動(スライド92 - 101)	
92	「宣伝活動」はスイスモビリティにとって不可欠
93	自国および海外への宣伝活動において、スイス観光局が重要なパートナー
94	スイスモビリティは、観光局とデータベースを共有している
95	スイス観光局の“MySwitzerland.com”というウェブサイトに、スイスモビリティも統合されている
96	それはスイスモビリティのウェブサイトを含んでいる
97	ユーロトレックのようなツアーオペレーター（現地手配を行う旅行会社）も重要なパートナー
98	スイスモビリティは、マップを発行しているいくつかの編集者と協働。例えば、地理省(日本の国土地理院)
99	ハイキングやサイクリングマップを公開する個人編集者も重要なパートナー
100	州レベルで各観光地はスイスモビリティと連携
101	例えば、ジュネーブ湖地方は、スイスモビリティと広範に連携
パート9：組織(スライド102 - 128)	
102	スイスモビリティの組織
103	国家レベルの重要なパートナーは、例えば
104	スイス連邦、26州、観光組織である
105	全員が同じ方向を向いて一緒に引っ張っている
106	これは世界で唯一だ
107	関係者との調整は国家レベルでは非常に重要
108	関係者との調整は26の州レベルでも重要
109	スイスモビリティの支援者は？最も望ましいパートナーとは？
110	・スイス連邦政府
111	・リヒテンシュタイン公国も含む
112	・26州
113	・スイスハイキング連盟等の人力以外の動力を使わない（ヒューマンパワー）による交通に関する団体
114	・スイスのツアークラブ
115	・公共交通の部門
116	・宿泊先のパートナー
117	・ガイドブック出版社
118	・マップ出版社
119	・観光地等の宣伝活動パートナー
120	・ツアーオペレーター（現地手配を行う旅行会社）
121	・スイス観光局
122	スイスモビリティ財団は次のように正式に組織されている
123	前述のパートナーの一部が財団評議会を構成している
124	また財団の委員会がある。
125	そこには、4人構成の理事会と事務局長がいる
126	運営レベルに、11名で構成されるプロジェクト管理チームもある
127	スイスモビリティの資金調達については、公的資金による50%、民間パートナーによる50%
128	民間パートナー向けの多くの情報は、“SwitzerlandMobility.org”から入手可能
パート10：成果(スライド129 - 137)	
129	スイスモビリティのいくつかの成果について
130	ウェブサイトは最も重要な情報伝達ツール
131	それにはウェブサイトのモバイル版とアプリを含む
132	ウェブサイトとアプリは、1年（2018年）で1300万回の閲覧

133	ウェブマップの印刷は 100 万回を超える
134	モバイルアプリは 2018 年までの間で 100 万ダウンロード
135	スイスマビリティで設定したルートにおけるいくつかの結果
136	ツアーあたりの消費額(スイスフラン)
137	年間 7 億 3 千万スイスフランの経済効果となる
パート 11: 冬期とアルペン (高山) への拡張(スライド 138 - 149)	
138	スイスマビリティは冬期版を 2017 年 12 月に開始
139	これは大幅な提供内容の拡大
140	この拡大は「スイスマビリティ 2020」という重要なプロジェクトの一部
141	内容は次のとおり。134 の冬期ハイキングルート、
142	164 のスノーシュールート、
143	143 のクロスカントリースキールート
144	85 のソリルート
145	冬期も、夏期ルートに準じた統一した標識掲示を実施
146	例：クロスカントリースキー
147	2020 年からスイスマビリティはアルペン(高山) にも拡張
148	例えば、スキーツアー、アルペンハイキング、登山などのルートがある
149	2020 年春には情報提供を開始
パート 12: おわりに(スライド 150 - 159)	
150	スイスマビリティの立ち上げは成功し、今日も継続している
151	いくつかの点で、スイスマビリティは世界で唯一
152	例：パートナーのネットワーク
153	例：ルートのネットワーク
154	例：標識掲示の基準
155	例：公共交通との連動
156	例：コーポレートデザイン (取組みのイメージの形成)
157	例：統一されたウェブ情報
158	例：統一されたガイドブック
159	ご清聴ありがとうございました